

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

|      |   |
|------|---|
| 対象部局 | 社会学部  |
| 大項目  | 6 教育内容・方法・成果  |
| 中項目  | 6.4 成果  |
| 小項目  | 6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。   |
| 要素   | 学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用<br>学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）                             |
| 小項目  | 6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。   |
| 要素   | 学位授与基準、学位授与手続きの適切性<br>学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）<br>学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門） |

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

| 2009年度に設定した「目標」                     | 左記目標の「指標」            | 進捗評価 |
|-------------------------------------|----------------------|------|
| 1. 学生の到達度を検証するための調査手法を開発する          | →調査手法の企画・開発、全学への提言など | D    |
| 2. 学生全体の到達度を検証し、必要に応じた教育内容・方法の改善を行う | →F D研修会の実施回数         | B    |

| 2010年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|-------------------|-----------|------|
|                   | →         | ☆    |
|                   | →         | ☆    |

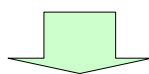
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

|            |   |
|------------|---|
| ☆ 小項目6.4.1 | (方針)<br>本学部の理想とするLearning Outcomesを操作的に定義したうえで、それを測定するための指標を策定する。<br>(現状説明)<br>定義自体が共通理解に到達しておらず、引き続き議論を行っている。  |
| ☆ 小項目6.4.2 | (現状説明)<br>学位授与基準・手続きについては、教授会で検討を行うとともに、最終的判定を教授会で審議している。また、教員の研究能力向上の一環として、プレゼンテーションを相互評価する「社会学部研究会」（9回）、各教員が教育上の課題を話し合い、教育情報を交換するための「学部懇談会」（1回）、「人権問題研修会」（2回）を開催した。 |
| ☆ その他      |   |

### ◎効果が上がっている事項

#### 【点検・評価（1）】効果が上がっている事項

|            |  |
|------------|--|
| 小項目6.4.1   |  |
| ☆ 小項目6.4.2 |  |
| その他        |  |



#### 【次年度に向けた方策（1）】伸ばさせるための方策

|            |  |
|------------|--|
| 小項目6.4.1   |  |
| ☆ 小項目6.4.2 |  |
| その他        |  |

## ◎改善すべき事項

| 【点検・評価 (2)】改善すべき事項 |  |
|--------------------|--|
| 小項目6.4.1           |  |
| ☆ 小項目6.4.2         |  |
| その他                |  |

↓

| 【次年度に向けた方策(2)】改善方策 |  |
|--------------------|--|
| 小項目6.4.1           |  |
| ☆ 小項目6.4.2         |  |
| その他                |  |

## ◎自由記述

| 【点検・評価】&【次年度に向けた方策】 |  |
|---------------------|--|
| ☆ その他<br>(自由記述)     |  |

## Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

## 【学外委員】

○6.4.2の「現状説明」後半部分は、6.3.1に記述するのが適当でしょう。「目標・指標」2自体をどこに配置するかという問題かもしれません。「教育成果の検証」という6.4の趣旨を、学部全体で共有することが望まれます。

## 【学内委員】

○学生の学習成果の測定について検討しているのは、難しい課題であり、評価できます。試行的なものであれ、成果が期待されます。

○学生の達成度を評価するための指標作りについては、現時点ではまだ議論中ということです。この点については、できるだけ早く指標作りを完成させる必要があります。

○FD研究会などの開催については、定期的実施されていますが、研究に関するものの数が教育に関するものを上回っており、よりよい教育のために、教育面での講演会の積極的な開催が望まれます。

## Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

## 6.4.1 (方針)

本学部の理想とするLearning Outcomesを操作的に定義したうえで、それを測定するための指標を策定する。

## (現状説明)

定義自体が共通理解に到達しておらず、引き続き議論を行っている。

★ 教員の研究能力向上の一環として、プレゼンテーションを相互評価する「社会学部研究会」(9回)、各教員が教育上の課題を話し合い、教育情報を交換するための「学部懇談会」(1回)、「人権問題研修会」(2回)を開催した。

## 6.4.2 (現状説明)

学位授与基準・手続きについては、教授会で検討を行うとともに、最終的判定を教授会で審議している。

## Ⅴ. 本項目の評価指標

## &lt;全学的な指標&gt;

|           |   |
|-----------|---|
| 6.4.0.S1  | 学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率        |
| 6.4.0.S2  | 定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度              |
| 6.4.0.S3  | 各学部における学生の進路状況                              |
| 6.4.0.S4  | 一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数                    |
| 6.4.0.S5  | 日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合                  |
| 6.4.0.S6  | 各年次セメスターごとの履修単位数制限の状況                       |
| 6.4.0.S7  | 成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率                |
| 6.4.0.S8  | GPA値(全学、学部別、男女別など)                          |
| 6.4.0.S9  | 修士学位・博士学位・専門職学位の授与数                         |
| 6.4.0.S10 | KGPSの修士学位・専門職学位の授与数                         |
| 6.4.0.S11 | 3年卒業の適用者数                                   |
| 6.4.0.S12 | ジョイント・ディグリーの授与者数                            |
| 6.4.0.S13 | 標準修業年限未満の修了者の数                              |
| 6.4.0.S14 | 在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率 |

## &lt;個別的な指標&gt;

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |